

建設業法違反を黙認するのか？

よしおか 吉岡 のぶひろ 信彦

丸投げを見抜けなかった

問 平成20年度に西島地区で施工された下水工事は、下請注文請書が偽造されている。

当局は書類の異常を見逃したまま施工を見ていたのか。

答 文書の汚れは関係ないものととらえている。

問 2050万円の一括下請を800万円と偽造しており、元請のS社長に確認したところ「建設業法違反がわかってしまったために偽造した」と言っている。本人了解の上での録音テープも提出してあるが、このままこれも見過ごすのか。

答 当事者からの疑義の申し立てにより対応したい。

問 追加工事は契約されないまま急がされ、元請と市の契約が行われた時点で工事は終了していた。下請はそれから

を設置していない。旧3町の社協支所を廃止しても、事務処理体制の見直しや公民館との連携を図ることで、諸課題への対応が可能と考えられる。また、法人として人件費も含めた経費の削減や組織のスリム化が必要であると考えられるが、今後の方向性についてはあくまでも理事会で決定される。



社会福祉協議会

敬老会委託料の基準は？

問 敬老会を開催するに当たり、業務委託料として市内12地区に一律15万円が支払われているが、参加人数やアトラクション、開催回数は考慮されていないのか。

答 現在、一律に1地区15万円を補助している。敬老会の運営も見直す時期と考えるので、調査研究をしていきたい。

1カ月も先になってからの金額提示で、サギ同然だ。市も違反の加担者ではないか。

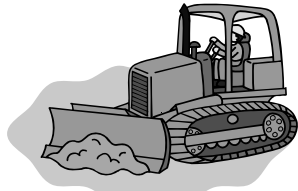
答 追加工事にかかる前に元請から見積もりを受けている。

問 こういうインチキがまかり通るのは、技術者を雇用していないでも工事を受注できる体制に問題がある。国県は社会保険の被保険者証コピーを添付させている。深谷も当然そうするべきではないか。

答 現在は工事経歴書等を提出させている。

問 そんなことだから、パート契約の現場監督でボロもうけができてしまい、まじめに技術者を雇って営業する会社が損をし、倒産する会社も出ているのではないか。なぜ被保険者証の提示をさせないのか！

答 国県等の状況を見極めた上で、検討していきたい。



深谷市旧川本畠山・本田地区通学路工事進捗状況

ながた 永田 かつひろ 勝彦

問 県道から猫坂までの通学路は狭隘。工事工程は。

答 測量設計業務を実施した。今後は計画的に行う。

1級河川吉野川にかかる落合橋の管理はどこか

問 橋梁鉄部の腐食が激しい。

答 市の管理である。本年詳細点検を行い結果に基づき対応する。

仮称「川本北保育園」の進捗状況

問 用地取得の報告を受けたが完成までのスケジュールは。

答 3595平方メートルの用地取得が終了し建設に向け検討委員会を設置。年内を目途に基本設計を確立。平成24年1月の開園を予定している。

市営住宅の役割とは

かとう としえ 加藤 利江

問 入居の条件について。

答 深谷市に住所または勤務場所があること。現に同居し、または同居しようとする親族があること。現に住宅に困窮していることが明らかなこと。入居しようとしている世帯の収入月額が控除後の基準額である15万8千円以下であること。市町村税等を滞納していないこと。本人及び同居世帯の全員が「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第2条第6号に規定する暴力団員ではないこと。連帯保証人を2名確保できること。以上を入居資格としている。

問 抽選の方法について。

答 入居の選定方法として、公開抽選を行っている。

父子児童扶養手当について

問 抽選の方法について。

答 入居の選定方法として、公開抽選を行っている。

本年6月の降ひょう、突風加えて集中豪雨の現場視察

問 視察に際し被災者に対する対応にそこはなかったか。

答 配慮が欠けていた。今後は万全な態勢で臨む。

深谷市商工業者への経済支援策

問 百年に一度という未曾有の経済金融危機。この大不況に対する支援を市民は望む。

答 平成20年度は緊急支援対策「深谷市サポートプラン08」と名付け中小企業への融資枠拡充、プレミアム商品券の発行支援、農業者への燃料高騰対策、各種景気浮揚策を実施。雇用対策は「地域職業相談室」を設置した。今後は5億円プレミアム券の支援等々、経済情勢の変化に機動的に対応していく。



畠山・本田地区通学路

父子児童扶養手当の創設について。

答 母子家庭を対象とした児童扶養手当は引き続き実施していくが、父子家庭を対象とすることにについては、国の動向を注視しながら、研究していきたいと考えている。

上栗地区ハナミズキ通りについて

問 木の手入れが行き届いていないが。

答 枯れている木については道路利用者の安全と景観を考慮、順次伐採を行い、一部枯れている木については剪定を実施していく。



ハナミズキ通り

今後の緊急経済対策はどうなっているか？

しみず けんいち 清水 健一

問 失業率が過去最高水準に達するという厳しい経済情勢の中、本市では緊急経済対策としてさまざまな施策を実施してきたが、その効果をどう評価して、今後の経済対策に生かすのか聞きたい。

答 昨年9月から実施してきた緊急経済対策で一定の効果があつたが、厳しい経済状況はまだ続くと思われることから、市としては、できるものは迅速に検討し、予算措置を行っていく。

地デジ放送への対応は？

問 平成23年7月から、アナログ放送が打ち切られ、デジタル放送に移行されるが、市としての対応を聞きたい。特に高齢者世帯や障害を持たれている方々が悪質商法などの被害に遭われるのが心配である。

社会福祉協議会支所の今後は？

よしだ こうたろう 吉田 幸太郎

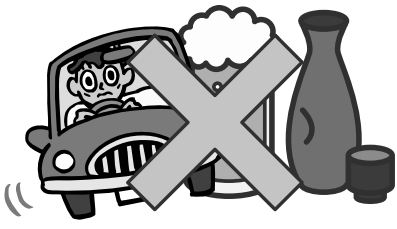
問 旧3町の社会福祉協議会支所は、老人会、民生児童委員、障害者福祉会など関係団体のサポート役として重要な役割を果たしている。また、高齢者など弱者の「心の支え」にもなっている。地域住民から親しまれている支所からの廃止は、住民サービスの低下となり「社協の活動に協力しよう」という住民の気持ちも薄れてしまう。市は社協の今後のあり方についてどう考えているのか。

答 深谷市社会福祉協議会の人事・組織に関しては、理事会に諮って決する。市長が会長を兼務しているが、市として社協の方向性について言える立場にないことを理解いただいた上で答弁する。現在、社会福祉協議会の12支会のうち旧深谷市の9支会は、支所

る。関係機関等との連携についても聞きたい。
答 市では情報システム課が中心となり、全庁的に連携を取り対応していく。国の関係機関「デジサポ埼玉」が行う説明会や地域の関係者の皆様の協力を得ながら周知広報活動を行っていく。

飲酒運転撲滅への活動は？

問 飲食店組合や代行運転業者の皆さんと市が連携して飲酒運転撲滅協議会のような会を作り進めるべきと思うが？
答 飲食店組合・代行運転業者の皆さんに限らず、タクシー会社の皆さんなどを含めた協議会設立については近隣市の状況を見ながら検討していく。



一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。